

大阪市南ブロック 事例報告・検討会

対面で開催

✓参加資格

大阪府作業療法士会会員
他ブロックの方もご参加お待ちしております！

2025年9月19日（金）

19：30～21：00

受付開始 19：00

✓内容

現職者共通研修

- ①事例報告
- ②事例検討
- ③参加（生涯教育ポイント2ポイント）

※検討で参加される方は、最低1回は質問するようお願いします

大阪府作業療法士会事務所

大阪市中央区玉造2-16-8
玉造井上ビル 6階

参加費：

大阪府士会員	500円
他府県士会員	1,000円
非会員	5,500円

イベントペイにて
お支払いください

✓申込み

下記のアドレスまたはQRコードよりお申し込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=6170239677598993&EventCode=P781631215

締切り

報告者：8月23日（土）

検討・参加者：9月12日（金）



✓演題発表要領について

1. 抄録作成

レジメはA4用紙3枚にまとめたものを作成してください
添付資料の「事例報告」の雛形に沿って作成してください
※2020年度より抄録の書式が統一されました

2. 報告形式

パワーポイントを使用しての口述発表になります
発表時間は10分以上です
質疑応答の時間は5分以上で、発表者の数に応じて決定します

資料送付先：southblockot@yahoo.co.jp

資料締切り：8月30日（土）

✓2020年度より査読を取り入れています。

マニュアルでは「職場で相談して」となっておりますが、ブロックでもバックアップいたしますので、お気軽にご相談ください。

※例年、分野を問わず素敵なアドバイスをいただいております。

みなさんで良い刺激を共有しましょう！

現職者共通研修「事例報告」・「事例検討」 (社)大阪府作業療法士会 学術部

✓応募に際して

1. 「事例報告・検討会」は各ブロックの研修会として年1回程度開催されています。ブロックからの広報（開催要項）に沿って応募してください。
2. 正会員は「事例報告・検討会」の応募資格があります。
当該年度の（社）日本作業療法士協会会費及び（社）大阪府作業療法士会会費の未納者は応募資格がありません。
→応募前に必ず会費を納入してください。
3. 発表同意書は不要ですが、口頭での承諾、個人が特定できない等、倫理的事項に十分配慮してください。
4. 報告する事項は、報告者自身が担当し、作業療法の評価・実践を行ったSingle Case Studyとします。
5. 事例報告書〔抄録〕はOT協会の事例報告登録制度に基づいた以下のマニュアルを参照して作成してください。
PowerPointのままでは不可とします。
6. 事例報告を行う際は、なるべく職場の先輩等に依頼して、相談・指導を受けるようにしてください。

✓発表形式について

発表は口述とし、PCプロジェクターを使用します。
PowerPointを使用しての発表を原則としますが、わかりやすいプレゼンテーションであれば、特にこだわりません。
スライド枚数は特に規定しませんが、発表時間に見合うよう配慮してください。
発表時間：10分以上 質疑応答時間：5分以上 とします。

✓報告書〔抄録〕について

1. 規定書式「事例報告書〔抄録〕テンプレート」を使用してください。
2. 事例報告書〔抄録〕テンプレートに直接打ち込んでください。
用紙サイズ：A4サイズ3枚とします。
※文章レイアウトは、絶対に変更しないでください。
3. 書式
＜演題名・所属・氏名＞
フォント：MS明朝 太字
サイズ：11pt
＜本文＞
フォント：MS明朝
サイズ：10pt
4. 当日の検討会を円滑及び有意義に進めるために、事前に抄録を提出してください。
※詳細は、ブロックの広報（開催事項）に沿って対応してください。

テンプレートが必要な方は
末尾の問い合わせ先にご連絡ください

✓事例報告用紙の記載内容

【報告の目的】（200字以内で入力）

事例報告の目的を述べてください。例えば、「機能障害あるいは遂行能力の改善に働きかけて効果がみられるので、その介入方法を報告する…」、「作業活動をする経験が対象者の生活に意味ある変化をもたらしたので、その経過を報告する…」 「環境調整によって社会参加の機会が増したので、その方法を紹介する…」などです。報告の目的に沿って論点を絞り、介入が長期にわたる事例の場合は、ある一定期間に限定して報告する、種々の問題に介入した場合は標的問題を中心に報告する、などの工夫をしてください。

【事例紹介】（400字を目安に入力、600字以内で入力）

年齢・疾患名・既往歴・現病歴・作業療法の対象となるまでの経緯・社会的背景など、本事例の作業療法方針に関連する個人因子と環境因子について述べてください。

【作業療法評価】（600字を目安に入力、800字以内で入力）

対象者の標的問題を中心とした評価（問題点、潜在能力、経過予測）を述べ、介入前の障害像、特に報告の目的に関わる主要な問題点を提示してください。観察評価を中心に行った場合には、観察の視点・観察された事実情報を具体的に記述してください。

【介入の基本方針】（200字以内で入力）

作業療法介入の基本方針について、目標あるいは目的達成のために、どのような方針で作業療法を進めたのかを具体的に述べてください。いくつかの基本方針を順次進める場合と、同時進行させる場合とがありますが、いずれも基本方針が複数にわたる場合には、分かりやすい記述に努めてください。介入にあたり、作業療法の実践モデルがある場合には、モデルや理論の名称を記載してください。

【作業療法実施計画】（600字以内で入力）

作業活動（実施課題）、実施形態（個別・集団・訪問など）、実施頻度（1回の時間、週あたり回数など）、実施期間など、作業療法士が「何を手段として」「どのように」関わったのかが分かるように記述してください。また、作業療法に用いた作業活動（課題）の選択理由、利用・活用方法、指導・援助の方法など、目的達成のために、どのような意図をもって作業療法を実施したのかが分かるように述べてください。

【介入経過】（800字を目安に入力、1000字以内で入力）

ここで必要な内容は「どのような経過」をたどったのか、ということです。経過が長い、あるいは介入項目が多い場合は、期間をいくつかの「期」に分け、介入項目ごとに整理するなどして、聴講者に伝わりやすい表現を工夫してください。対象者に変化を与えたと思われる主要な介入方法は詳細に述べ、聴講者が追試を試みようとする時に役立つ情報を提供してください。プログラムの変更があった場合には、その理由を述べ、予期せぬ変化等についても記述してください。

【結果】（500字を目安に入力、700字以内で入力）

介入によって得られた評価指標（数値）の変化、あるいは作業療法の介入によって生じた対象者の生活（行動）上の変化などを具体的に記述してください。

【考察】（700字以内で入力）

「結果」で述べた対象者の変化に関する解釈を記述してください。作業療法介入は、対象者の標的問題にどのような変化（効果）をもたらしたのか、あるいはもたらさなかったのか、そしてそれらはどのような理由によるものか等を、利用した評価指標の変化との関連から考察してください。そして、今回実践した作業療法は、対象者の生活にどのような変化をもたらしたのか、対象者にとっての意味や価値という視点、活動や参加、生活の質といった視点についても可能な限り考察してください。

テンプレートが必要な方は、下記までご連絡ください。

問い合わせ先：大阪南ブロック 担当：片岡・尾関

southblockot@yahoo.co.jp